



## 手作り用具の製作

直径 6cm の丸太杭(25cm×8本と15cm×1本の全長2m15cm)を使用し、モルックとスキttl(普及型)、モルッカーリ(簡易型)を低価格で自作できます。完成する用具の直径は、規格値より5mmほど太くなりますが、正規品と同じように屋外用の用具となります。

モルックをより多くの方々に手軽に楽しんでいただくために、用具の作り方を紹介いたします。



### 1. モルック・スキttl(普及型)

- ① 直径 60mm の丸太杭(ひび割れの少ないものを選ぶ)を切って、長さ 250mm の棒8本を作り、8本の中から同程度の質感のある棒を2本選んで、長さ225mm に切って2本のモルックを作る。
- ② スキttl用の6本の棒の中央部を、棒のひび割れの部分がスキttlの側面になるように45度に切って、高さ150mm のスキttl12本を作る。
- ③ スキttlとモルック表面と角をヤスリで研磨し、ひび割れは、その溝の角の部分のカッター等削るか、コーキング等で処理する。
- ④ 耐水性フィルムにホームページからダウンロードした番号シール(スキttl用大)を印刷して、斜めの切り口の部分に貼るか、油性ペンで番号を書く。



※ 用具を自作ができないときは、購入材料を有料で切ってくれるホームセンターで直径6cm の丸太杭を購入し、この説明書を提示して用具(モルック、スキttl、モルッカーリ)の製作を依頼する。但し、購入後に切り口の角をヤスリで研磨するかカッター等で削り、スキttlの番号は番号シールを貼るか、油性ペンで書く。

※ コンクリートなどの平らな床面でスキttlが倒れると、遠くまで転がってゲームの楽しさが半減します。モルックとスキttlの背面を3mmほど削って「かまぼこ」状にすると改善することができます。

### 2. モルッカーリ(簡易型)

- ① モルッカーリ用に丸太杭で長さ 150mm の棒1本を作り、棒の中央部を45度に切って、高さ100mm の簡易型モルッカーリ2本を作る。
  - ② スキttlの製作と同じ要領で、角の切り落としや研磨をする。
  - ③ ダウンロードしたデータを印刷し、番号シール内の”**┌**”、”**└**”のマークを貼るか、油性ペンでこの”**┌**”、”**└**”のマークを書く。
- ※ モルッカーリは、投げる位置の左右に50cmほど離して使用する。



### 3. モルッカーリ(標準型)

- ① 長さ 910、幅 38mm、厚さ 19mm の角材1本と幅 32mm の蝶番3個(2組)を準備する。
  - ② 長さ910mm の角材を4等分の長さに切って、4本の角材にする。
  - ③ 切った4本の角材の表面と角をヤスリで研磨する。
  - ④ 4本の角材の切口に3個の蝶番を角材が折れたためるように取付けて、角材を開いたときに「コ」の字になるように作る。
- ※ 完成したモルッカーリの長さや幅は、市販品より少し短くなる。(蝶番に付属の木ネジは短いため、長めの木ネジ(2.7\*16)を使用します。)



### 4. 配置シート

スキttlの並べ方とスキttlの置く場所を示すための配置シートです。

- ① 配置シールを貼るクッションフロアなどのシート(300\*300mm)を準備する。
- ② ダウンロードしたデータを耐水性フィルムにA4版の配置シールを印刷する。
- ③ 切抜いた番号シールをシートに貼るか、印刷した配置シールを直接シートに貼る。(配置シールを普通紙に印刷した場合は、一旦ラミネートしたものをシートに両面テープで貼る)
- ④ 番号シールまたは配置シールを貼った配置シートの周囲を適正サイズに切る。

